

# あなたは中国で成功できる！？

～第一線で活躍する中国経済人がおしえる  
ベンチャー企業や中小企業が中国で成功する方法～

2016年 **4**月**7**日(木)

14:00～18:00

浜松イノベーションキューブ 2階会議室

浜松市中区和地山 3-1-7

セミナー無料  
(先着30名)  
交流会参加者は  
500円

## 第1部

14時05分～15時20分

### 中国経済の今後とビジネスチャンス

～中国におけるイノベーション・新事業創出について～

株式会社 KTI 代表取締役社長 景 建平 氏



## 第2部

15時25分～15時50分

### 中国の戦略的新興産業施策

～世界最大のナノテク応用産業総合コミュニティ、  
ナノテクパークの紹介～

蘇州ナノテク発展有限公司 副総裁 張 峰 氏



## 第3部

15時55分～16時20分

### 中国の起業・創業事情

～中国の先進技術移転、技術インキュベーション、産業投資の紹介～

広州順徳美的科技孵化器有限公司 総経理 鄧 亦威 氏



## 第4部

16時25分～16時55分

### パネルディスカッション(講師・参加者)

## 第5部

17時00分～18時00分

### 名刺交換会・交流会(参加費500円/1人)

主催： 浜松イノベーションキューブ

後援(予定)： 浜松市 日本貿易振興機構(JETRO)浜松貿易情報センター  
浜松商工会議所 (公財)浜松地域イノベーション推進機構

## ■セミナー開催概要

成長率が7%台まで低下シダウンサイド・リスクが叫ばれる最近の中国経済。人民元が切り上がり、かつ中国国内の人件費は上昇傾向を辿り、中国ではかつてのように、安い労働力を大量に用いてものづくりを行うというビジネスモデルが通用しなくなりつつあります。世界の工場はどうなるのか。仮に中国経済がバブル崩壊となれば、日本をはじめとする世界経済に大きな影響を及ぼすことは必至ですが、そのリスクはどの程度なのか。かたや、李克強首相が進めている構造改革によって労働の質が高まり、生産効率が図られ、製造業からサービス業への転換等内需主導型の成長が進めば、今後3～5年間で中国経済の新しいプラス局面が見えてくるかもしれません。

日本にとって切っても切れない隣の経済大国である中国。中国・日本両国の第一線でビジネスを展開している講師から、中国経済の現状、今後の方向性、中国市場にベンチャー企業や中小企業が果敢にチャレンジするためのヒントをおしえていただきます。また、パネルディスカッションや交流会では講師と参加者による日中両国の企業経営者同士の意見交換や交流を図ります。

## ■講師略歴

### ○景 建平 氏

- ・所属: 蘇州凱蒂亞半導体製造設備有限公司董事長／株式会社KTI代表取締役社長
- ・略歴: 景 建平氏は中国からの海外留学生として東京工業大学にて工学博士号を取得。中国では国家“千人計画”特聘專家、廣東工業大学特聘教授を歴任すると共に中国江蘇省蘇州市を本拠地とする工場用先端自動化製造設備の開発・設計・製造する中国ハイテク企業である凱蒂亞（略称：KTI）公司グループの董事長として、日本では株式会社KTIの代表取締役社長として、日中の懸け橋となり活躍しているビジネスマン。

### ○張 峰 氏

- ・所属: 蘇州ナノテク発展有限公司（中国語名：蘇州納米科技発展有限公司）副社長
- ・略歴: 2004蘇州大学日本語及び日本文学学士を取得、2013年蘇州大学MBA修士号を取得（投資マネージメント研究）2004年～2015年 蘇州工業団地管理委員会投資促進公団の副総裁。2015年より蘇州ナノテク発展有限公司の副社長を務める。

### ○鄧 亦威 氏

- ・所属: 広東順徳美的科技孵化器有限公司 取締役社長
- ・略歴: 1996年法政大学大学院経済学専攻修士課程終了、1999年美的グループ入社、美的・東芝合作推進室マネージャー、経営と戦略管理部国際合作マネージャー、高級投資マネージャー、副部長、日用家電グループ戦略発展部部長、ホールディングカンパニー科学技術部總監、副社長、美的創業園總經理を歴任、広東華南企業創新研究院院長、広東省家電製品標準委員会秘書長、元広東省ハイテック企業協会副理事長、元順徳ハイテック企業協会会長。

## ■お申込

下記参加申込書に必要事項をご記入の上、Eメール又はFAXにてお申込み下さい。

事業所名	〒				
所在地				TEL	
				FAX	
参加者名	(所属・役職: )	E-mail		交流会	出席・欠席
参加者名	(所属・役職: )	E-mail		交流会	出席・欠席
当日の 来場方法	車____台 利用 ・ 公共交通機関を利用 ※お車の場合、台数もご記入下さい。 HI-Cubeより事前にメール又はFAXにて駐車場についての御案内をさせていただきます。				

## ■お問い合わせ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 浜松イノベーションキューブ（HI-Cube）IM室  
〒432-8003 浜松市中区和地山3-1-7  
〔TEL〕053-478-0141 〔FAX〕053-473-7221  
〔Eメール〕hi-cube-info@smrj.go.jp



## ■注意事項

★当施設内の来客者駐車場は限りがございますので、公共交通機関及び自転車等をご利用願います。やむを得ずお車で来場される場合は、HI-Cube近隣の旧城北図書館跡地駐車場をご利用ください（当該駐車場の場所については、申込時に車で来場される旨を御連絡いただいた方に対し、IM室よりメール又はFAXで御案内させていただきます。またセミナー当日につきましても、スタッフが当該駐車場の御案内をさせていただきます）。

★本セミナー参加の為頂いた個人情報、本セミナー開催に係る参加者の確認、出欠確認、本セミナー運営に関する連絡および機構各事業の情報提供の目的のみに使用し、法令に基づく開示請求があった場合、申込者本人の同意の場合、その他相当な理由がある場合を除き、第三者への情報提供はいたしません。